

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第90期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ヒラノテクシード
【英訳名】	H I R A N O T E C S E E D C o . , L t d .
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松 葉 茂 美
【本店の所在の場所】	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
【電話番号】	0745(57)0681番
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務担当 定 安 一 男
【最寄りの連絡場所】	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
【電話番号】	0745(57)0681番
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務担当 定 安 一 男
【縦覧に供する場所】	株式会社ヒラノテクシード東京支店 （東京都中央区日本橋本町4丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第2四半期 連結累計期間	第90期 第2四半期 連結累計期間	第89期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	7,193,143	20,146,955	15,732,258
経常利益 (千円)	737,043	3,384,661	1,242,679
四半期(当期)純利益 (千円)	464,052	2,033,990	771,770
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	400,778	2,071,022	938,090
純資産額 (千円)	17,520,736	19,948,410	17,967,744
総資産額 (千円)	24,617,265	33,187,634	32,009,607
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	30.84	135.20	51.30
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	71.17	60.04	56.13
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	858,353	124,910	2,240,972
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	550,568	532,513	526,027
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	6,184	138,545	366,996
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	9,218,485	9,696,872	10,215,751

回次	第89期 第2四半期 連結会計期間	第90期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	26.91	107.99

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の推し進める財政・金融政策等の効果により長引く円高のはずや株価の上昇を背景に小売業を中心とした内需が比較的好調に推移し、景気は緩やかながらも回復の兆しが現れました。

また、米国においても企業業績は増収基調にあり、雇用情勢も改善傾向にあります。しかし、一部新興国での景況感は設備過剰も懸念されるなど、依然、不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、コスト・技術・ものづくりにおける改革を一層スピードアップさせるとともに、お客様に価値ある技術を創出し続け、顧客の高度な技術ニーズに対応すべく品質管理を徹底し、環境エネルギー分野及び電気・電子部材関連分野を中心に、高精度薄膜塗工機の拡販に努めてまいりました。

また、受注状況につきましては、厳しい受注環境のもと光学機能性フィルム製造装置や電気・電子関連分野向けを中心に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,146百万円（前年同期比180.1%増）となり、利益面では営業利益は3,337百万円（前年同期比368.2%増）、経常利益は3,384百万円（前年同期比359.2%増）、四半期純利益は2,033百万円（前年同期比338.3%増）となりました。

受注残高につきましては、13,177百万円（前期末比44.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（塗工機関連機器）

当セグメントは、厳しい受注環境のもと、光学機能性フィルム製造装置関連を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は3,415百万円（前年同期比20.9%減）となりました。また、セグメント利益は401百万円（前年同期比43.3%減）となりました。

受注残高につきましては、6,693百万円（前期末比49.8%増）となりました。

（化工機関連機器）

当セグメントは、真空薄膜装置が好調に推移いたしました。

その結果、売上高は16,397百万円（前年同期比561.9%増）となりました。また、セグメント利益は3,249百万円（前年同期比1,076.1%増）となりました。

受注残高につきましては、6,151百万円（前期末比67.7%減）となりました。

（その他）

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は333百万円（前年同期比15.7%減）となりました。また、セグメント利益は75百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

受注残高につきましては、331百万円（前期末比177.4%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、期首残高よりも518百万円減少し、9,696百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは124百万円(前年同期は858百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が3,434百万円になったこと及び、売上債権が7,497百万円増加したこと、また、たな卸資産が4,071百万円減少したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは532百万円(前年同期は550百万円の収入)となりました。これは主に、有価証券の取得により1,028百万円、有形固定資産の取得により535百万円、それぞれ支出があったこと及び、有価証券を売却したことにより1,062百万円の収入があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは138百万円(前年同期は6百万円の支出)となりました。これは主に、長期運転資金確保のため借入れを450百万円実施する一方、約定弁済を259百万円行ったこと、また、配当金の支払を90百万円行ったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は、194百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 生産、受注及び販売の状況

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	2,867,326	16.0
化工機関連機器	12,906,132	+553.2
その他	229,452	11.1
合計	16,002,911	+183.3

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	5,641,925	+86.7	6,693,918	+49.8
化工機関連機器	3,504,118	62.2	6,151,714	67.7
その他	545,244	+52.0	331,412	+177.4
合計	9,691,287	23.4	13,177,044	44.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,415,727	20.9
化工機関連機器	16,397,912	+561.9
その他	333,315	15.7
合計	20,146,955	+180.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び戦略的現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じたものはありません。

(7) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金需要

当社グループの資金需要の主なものは、運転資金、法人税等の支払、設備投資、借入金の返済、配当金の支払等であります。

また、その資金は、主として自己資金により充当し、金融機関からの借入による資金調達を必要に応じて実施することで金融費用を低減するよう努めております。

総資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,178百万円増加し、33,187百万円となりました。以下において主な科目別に説明いたします。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ992百万円増加し、27,495百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が6,039百万円増加し、有価証券が429百万円、仕掛品が4,079百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ185百万円増加し、5,692百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が174百万円増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ858百万円減少し、11,983百万円となりました。その主な要因は未払法人税等が1,206百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,020百万円、前受金が1,457百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、1,255百万円となりました。その主な要因は、長期借入れを158百万円実施する一方、退職給付引当金が39百万円、役員退職慰労引当金が48百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,980百万円増加し、19,948百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益を2,033百万円計上した一方、前連結会計年度に係る期末配当金を90百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が37百万円増加したことによります。

(8) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において経営者の問題認識と今後の方針について重要な変更及び新たに生じたものはありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,394,379	15,394,379	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	15,394,379	15,394,379	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	15,394,379	-	1,847,821	-	1,339,654

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号)	1,450	9.41
ヒラノ会	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1	1,301	8.45
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,058	6.87
伊藤忠商事株式会社	東京都港区北青山2丁目5番1号	989	6.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	737	4.78
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	731	4.74
オーエム04エスエスピークラ イアントオムニバス (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	338 PITT STREET SYDNEY NSW 2000 AUSTRALIA (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	590	3.83
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ エージェント ピー エヌワイエム エイエス イーエ イ ダッチ ペンション オムニバ ス 140016 (常任代理人 株式会社みずほ銀 行決済営業部)	THE BANK OF NEW YORK MELLON ONE WALL STREET NEW YORK, NY 10286 U.S.A. (東京都中央区月島4丁目16番13号)	526	3.42
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号)	300	1.94
株式会社南都銀行 (常任代理人 日本マスタート ラスト信託銀行株式会社)	奈良県奈良市橋本町16番地 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	300	1.94
計	-	7,985	51.87

(注) 1. 上記のほか、当社所有の自己株式が349千株あります。

2. ヒラノ会は、当社取引先持株会であります。

3. 上記のうち信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 1,058千株

4. 三井住友信託銀行株式会社から、平成25年9月20日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により、平成25年9月13日現在で以下のとおり株式を保有している旨報告を受けておりますが、当社としては当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	513	3.34

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 349,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,036,300	150,363	-
単元未満株式	普通株式 8,479	-	-
発行済株式総数	15,394,379	-	-
総株主の議決権	-	150,363	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式48株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヒラノテクシード	奈良県北葛城郡 河合町大字川合101番地の1	349,600	-	349,600	2.27
計	-	349,600	-	349,600	2.27

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,227,832	9,102,968
受取手形及び売掛金	6,518,556	12,558,151
有価証券	2,653,251	2,224,073
仕掛品	7,286,044	3,206,497
原材料及び貯蔵品	103,708	94,264
その他	716,047	315,153
貸倒引当金	2,428	6,011
流動資産合計	26,503,012	27,495,098
固定資産		
有形固定資産	3,132,244	3,307,177
無形固定資産	170,803	157,584
投資その他の資産		
投資有価証券	1,903,538	1,962,099
その他	300,009	265,676
投資その他の資産合計	2,203,547	2,227,775
固定資産合計	5,506,595	5,692,536
資産合計	32,009,607	33,187,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,518,970	7,498,824
短期借入金	20,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	438,996	471,436
未払法人税等	199,477	1,406,430
前受金	2,698,889	1,240,959
賞与引当金	179,350	178,225
製品保証引当金	20,900	29,900
資産除去債務	-	14,137
その他	765,108	1,083,486
流動負債合計	12,841,691	11,983,399
固定負債		
長期借入金	364,220	522,332
退職給付引当金	625,952	586,592
役員退職慰労引当金	180,310	132,256
資産除去債務	23,659	9,916
その他	6,029	4,727
固定負債合計	1,200,171	1,255,824
負債合計	14,041,863	13,239,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	14,902,349	16,846,071
自己株式	406,844	406,931
株主資本合計	17,683,049	19,626,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,695	321,727
その他の包括利益累計額合計	284,695	321,727
純資産合計	17,967,744	19,948,410
負債純資産合計	32,009,607	33,187,634

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,193,143	20,146,955
売上原価	5,648,750	16,002,911
売上総利益	1,544,392	4,144,044
販売費及び一般管理費	831,602	806,741
営業利益	712,790	3,337,303
営業外収益		
受取利息	4,049	4,303
受取配当金	22,029	21,294
為替差益	-	12,184
その他	20,176	16,331
営業外収益合計	46,255	54,112
営業外費用		
支払利息	6,852	4,683
為替差損	4,399	-
固定資産除却損	5,751	1,270
その他	4,999	800
営業外費用合計	22,002	6,755
経常利益	737,043	3,384,661
特別利益		
受取保険金	-	50,309
特別利益合計	-	50,309
税金等調整前四半期純利益	737,043	3,434,970
法人税、住民税及び事業税	261,218	1,408,030
法人税等調整額	11,773	7,050
法人税等合計	272,991	1,400,979
少数株主損益調整前四半期純利益	464,052	2,033,990
四半期純利益	464,052	2,033,990

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,052	2,033,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,273	37,031
その他の包括利益合計	63,273	37,031
四半期包括利益	400,778	2,071,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,778	2,071,022
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	737,043	3,434,970
減価償却費	169,023	191,805
長期前払費用償却額	4,801	6,898
賞与引当金の増減額(は減少)	449	1,125
貸倒引当金の増減額(は減少)	504	3,583
退職給付引当金の増減額(は減少)	31,596	39,360
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	14,857	48,054
製品保証引当金の増減額(は減少)	6,300	9,000
受取利息及び受取配当金	26,078	25,597
支払利息	6,852	4,683
受取保険金	-	50,309
固定資産除却損	5,751	1,270
売上債権の増減額(は増加)	715,659	7,497,525
たな卸資産の増減額(は増加)	714,543	4,071,296
仕入債務の増減額(は減少)	242,388	1,143,272
未払金の増減額(は減少)	6,685	172,313
前払費用の増減額(は増加)	5,875	7,438
未払消費税等の増減額(は減少)	96,542	337,849
未収消費税等の増減額(は増加)	78,495	473,522
その他	13,787	86,520
小計	1,057,064	18,968
利息及び配当金の受取額	25,680	25,776
利息の支払額	6,852	4,683
保険金の受取額	-	62,584
法人税等の支払額	217,539	195,878
法人税等の還付額	-	6,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,353	124,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,000	1,000
定期預金の払戻による収入	132,000	2,000
有価証券の取得による支出	895,849	1,028,016
有価証券の売却による収入	1,796,000	1,062,000
有形固定資産の取得による支出	214,542	535,919
有形固定資産の売却による収入	40	380
無形固定資産の取得による支出	38,692	8,492
投資有価証券の取得による支出	201,310	101,336
投資有価証券の売却による収入	324	104,004
その他	25,400	26,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	550,568	532,513

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	25,000	40,000
長期借入れによる収入	320,000	450,000
長期借入金の返済による支出	245,168	259,448
自己株式の取得による支出	29	87
配当金の支払額	105,015	90,376
その他	971	1,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,184	138,545
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,402,737	518,878
現金及び現金同等物の期首残高	7,815,747	10,215,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,218,485	9,696,872

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	182,956千円	173,262千円
賞与引当金繰入額	41,527	41,110
退職給付費用	16,375	19,575
役員退職慰労引当金繰入額	21,742	22,866

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	7,627,510千円	9,102,968千円
有価証券	3,506,973	2,224,073
預入期間が3か月を超える定期預金	434,000	480,000
償還期限が3か月を超える有価証券	1,481,998	1,150,169
現金及び現金同等物	9,218,485	9,696,872

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	105,314	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
未日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	90,269	6.00	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	90,268	6.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
未日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	195,581	13.00	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	4,320,330	2,477,570	395,242	7,193,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-
計	4,320,330	2,477,570	395,242	7,193,143
セグメント利益	707,722	276,289	101,184	1,085,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,085,196
(注) 全社費用	372,405
四半期連結損益計算書の営業利益	712,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	3,415,727	16,397,912	333,315	20,146,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-
計	3,415,727	16,397,912	333,315	20,146,955
セグメント利益	401,038	3,249,419	75,302	3,725,759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,725,759
全社費用(注)	388,456
四半期連結損益計算書の営業利益	3,337,303

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	30円84銭	135円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	464,052	2,033,990
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	464,052	2,033,990
普通株式の期中平均株式数(株)	15,044,915	15,044,795

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第90期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当については、平成25年11月8日開催の取締役会において、平成25年9月30日を基準日として、株主又は登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	195,581千円
1株当たりの金額	13円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月5日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社ヒラノテクシード
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤井 睦裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒラノテクシードの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒラノテクシード及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。